

全国初！ シロギスの完全養殖に成功

～沿岸漁業の振興と地域活性化を目指して～

福山大学の臨海施設である内海生物資源研究所（因島キャンパス）は、平成元年に設立され、瀬戸内海の生物資源研究と養殖等の開発、地元の海を紹介・展示する水族館、有用な魚介類が瀬戸内海でどのように暮らしているかを調査するといった3つのフィールドを中心に、人間が自然と共存して持続可能な資源の利活用をするといった大きなコンセプトで研究が行われています。

近年、海洋資源の温暖化による生息域の変化など沿岸漁業の漁獲量が減少する中、全国初となるシロギスの完全養殖に携わった福山大学因島キャンパス内にある沿岸資源培養学研究室の「有瀧真人（ありたき まさと）」教授にお話をお伺いしました。

有瀧教授は、平成26年に（独）水産総合研究センターから福山大学へ移籍し、栽培漁業や養殖に使用する人工種苗の形態異常防除の研究と教育を行ってられます。

人工的な環境下で生じる魚の形態異常に関する研究をするにあたり、学内の施設に見合うモデル魚種を模索していたところ、学生が昼休みに釣ってきたシロギスに着目。

シロギスは、成長しても20cm程度と学内の施設で管理が行えること、6月上旬から10月上旬のおよそ100日の間、毎日産卵することも実験に適していました。

この研究では、成長するまで4年程度を要するシロギスが、養殖では翌年夏には同サイズまで大きくなるという想定外の発見をしたことにより、更なる転機を迎えます。



（シロギスの稚魚を見つめる有瀧教授）

「しまなみテッポウギスプロジェクト」

福山大学との連携を模索していた福山市内の飲食業者および水産卸商社の目に留まり、商品開発や養殖に向けてタッグを組んだ研究がスタートしたのです。

そこから、数年に及ぶ共同研究により、シロギスの生態把握と養殖技術が進化し、成魚までの安定した養殖が可能となりました。

そして、令和元年7月には、①飲食店でお刺身やお寿司に使える大きなキス（25cm、100g以上）の生産、②食味、食感、旨味を見える化し、消費者に実感してもらうことを目的に「しまなみテッポウプロジェクト」が開始されました。



（シロギスが育つ大水槽）

ブランド「びんごの姫」誕生

令和5年3月には、産業振興と地域展開を見据え、養殖シロギスブランド「びんごの姫」を商標登録しました。

「びんごの姫」は、共同研究を行っている水産卸商社が養殖したシロギスを「大きさ、見た目の美しさ、身のハリや艶」等の基準を満たしたものをサイズ別に認定して出荷されています。

天ぷらや塩焼きなどにすると、甘く、ふっくらとしており、市場での評価も高く、飲食店としても安定した仕入れができるというメリットに繋がっています。



(大学附属の水族館で元気よく泳ぐシロギス)

有瀧教授は、「令和5年11月から出荷を開始し、東京、大阪、福岡を中心としているが、広島県内でもびんごの姫を提供しています。是非、ご賞味いただきたい。これらは課題解決に向けて学生が取り組んできた成果であり、これからも学生とともに様々な課題解決に取り組むことを楽しみにしています。」と力強く述べられました。

取材先：福山大学生命工学部海洋生物科学科（内海生物資源研究所）

<https://www.fukuyama-u.ac.jp/blog/80770/>

学生の皆さんが運営する大学付属水族館は、土日祝を除く平日のみ開館しており、入場無料です。

農林水産省の各種補助事業で

クロスコンプライアンスとは、
各種の補助事業で環境にやさしい最低限の取組を要件にすることです。

「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」が始まっています！

どうして農林水産業で環境負荷低減に
取り組まなければならないの？



農林水産業には環境によい多面的機能がある一方で、
環境に負荷を与えている側面もあります

農林水産業は、環境の影響を受けやすいことに加え、農林水産業自体が環境に負荷を与えている側面もあります。このため、日頃の事業活動の中で新たな環境への負荷が生じないように、7つの基本的な取組を実践することが重要です。また、こうした取組を行うことが消費者の理解にもつながります。

クロスコンプライアンスは、誰もが取り組める
環境負荷低減への「初めの一歩」です。

農林水産省では、令和6年度から、原則全ての補助事業等で新たに「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」を導入しています。農業者の皆様をはじめ、林業事業者、漁業経営体、民間事業者、自治体など、農林水産省の予算事業を活用する全ての方を対象に、環境にやさしい農林漁業のための最低限の取組を、事業申請時にチェックシートで提出し、実践していただくことを事業要件としています。

環境負荷低減のクロスコンプライアンスへのご理解と取組の実践をお願いします。

「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」の7つの基本的な取組



お問合せ先

○中国四国農政局広島県拠点
☎(直通) 086-228-9629

農林水産省HP
「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」
はこちらから！



編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306)

<農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>